

# 市 政 一 般 質 問

(通 告 内 容)

令和 4 年 1 2 月

## 那須塩原市議会定例会議

### 【質 問 者】

#### 【令和 4 年 1 1 月 2 9 日 (火)】

- |   |        |            |    |       |
|---|--------|------------|----|-------|
| 1 | 10:00～ | 議席番号 2 4 番 | 山本 | はるひ議員 |
| 2 | 11:15～ | 議席番号 1 2 番 | 中里 | 康寛議員  |
| 3 | 13:15～ | 議席番号 1 4 番 | 佐藤 | 一則議員  |
| 4 | 14:30～ | 議席番号 1 0 番 | 山形 | 紀弘議員  |

#### 【令和 4 年 1 1 月 3 0 日 (水)】

- |   |        |            |    |      |
|---|--------|------------|----|------|
| 5 | 10:00～ | 議席番号 8 番   | 益子 | 丈弘議員 |
| 6 | 11:15～ | 議席番号 9 番   | 小島 | 耕一議員 |
| 7 | 13:15～ | 議席番号 1 5 番 | 星  | 宏子議員 |
| 8 | 14:30～ | 議席番号 4 番   | 鈴木 | 秀信議員 |

#### 【令和 4 年 1 2 月 2 日 (金)】

- |    |        |            |    |      |
|----|--------|------------|----|------|
| 9  | 10:00～ | 議席番号 5 番   | 室井 | 孝幸議員 |
| 10 | 11:15～ | 議席番号 1 8 番 | 大野 | 恭男議員 |
| 11 | 13:15～ | 議席番号 7 番   | 森本 | 彰伸議員 |
| 12 | 14:30～ | 議席番号 1 番   | 堤  | 正明議員 |

#### 【令和 4 年 1 2 月 5 日 (月)】

- |    |        |            |    |      |
|----|--------|------------|----|------|
| 13 | 10:00～ | 議席番号 1 1 番 | 星野 | 健二議員 |
| 14 | 11:15～ | 議席番号 3 番   | 林  | 美幸議員 |
| 15 | 13:15～ | 議席番号 1 3 番 | 齊藤 | 誠之議員 |
| 16 | 14:30～ | 議席番号 2 6 番 | 金子 | 哲也議員 |

受付番号	令和 4年11月 7日
第1号	午前 10時 33分受付 午後

令和 4年11月 7日

那須塩原市議会議長 松田寛人様

議席番号 24 番 山本はるひ

## 市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和4年12月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
1. ネーミングライツ (命名権) の導入について	<p>那須塩原市は2021年からネーミングライツを導入し、11月7日現在、スポーツ施設と文化施設の6か所に愛称がついています。</p> <p>市民にとって公共施設の名称はわかりやすいことが第一です。他市の例ですが、名前だけでは何の施設かわからない、場所がどこか判断できない場合があるとのこと。また長く親しまれている名前に愛着を持ち、企業名が付くことに戸惑いを覚える市民もいると思います。</p> <p>そこで、ネーミングライツについての考え方など以下のことを質問します。</p> <p>(1) ネーミングライツを導入することによる市のメリットとデメリットについて伺います。</p> <p>(2) 国のガイドラインはないとのことですが、市は何を基準にして名称決定をしているのか伺います。</p> <p>(3) ネーミングライツを導入した施設について、それぞれの維持管理費と運営費、契約金額と契約年数を伺います。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	(4) 今後予定のネーミングライツ提案対象施設が示されています。
	対象施設に選んだ理由を伺います。
	(5) 現在はスポーツ施設と文化施設を対象にしているネーミングライツですが、祭りなどのイベントに広げることを考
	えているか伺います。
2. プラスチックごみの分別回収とリサイクルの実証事業	市は、環境省の「プラスチックの資源循環に関する先進的モデル形成支援事業」採択を受けて、プラスチックごみの分別回収と
について	リサイクルの実証事業を行っています。事業は10月25日から
	11月末まで厚崎公民館で行い、結果を踏まえて今後の回収品目
	や回収方法について検討していくとのことです。
	今後の分析、検討を経て、市としての方針を決めていくのだと
	思いますが、市内全地域でプラスチックの分別回収とリサイクル
	が実現することを願って質問します。
	(1) 回収対象とするプラスチックについて、容器包装プラスチ
	ックだけでなく、製品プラスチックも含めているのはなぜ
	か伺います。
	(2) 分別回収をするにあたっては地域住民へのていねいな説明
	が不可欠だったと思いますが、厚崎地区ではどのような方
	法で行ったのか、問題なく分別回収ができていたのか伺い
	ます。
	(3) リサイクルで新たな製品に生まれ変わらせるということ
	ですが、近くに業者があるのか、リサイクルに対しての経費
	はどのようなか伺います。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	<p>(4) 実証事業を行っている段階ではあるのですが、この事業が実現する可能性について、またそのために解決すべきことについて伺います。</p>
<p>3. まちなか交流センターくるるの講座・イベントなどの事業について</p>	<p>開館4年目、くるる内で行われている講座やイベントが充実して、毎月の「くるる通信」やSNS でていねいな情報発信が行われています。さらに地元の野菜や姉妹都市ひたちなか市からの干物なども置くようになり、夏には来館者が10万人を超えたとニュースになりました。</p> <p>そこで、くるるで開催されている講座やイベントなどの事業の状況（貸館も含めて）と課題について伺います。</p>

受付番号	令和 4年11月 7日
第3号	午前 3時 49分受付 午後

令和 4年11月 7日

那須塩原市議会議長 松田寛人様

議席番号 12番 中里康寛

## 市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和4年12月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 那須塩原サテライトオフィス誘致について	<p>地方へのサテライトオフィスの誘致は、地方創生と働き方改革という、わが国の最重要課題2つに深くかかわるものであります。</p> <p>そのことから国も含めて積極的な取組がなされており、サテライトオフィスに係る特別交付税措置やマッチング支援事業など、すでにその促進策も講じられております。</p> <p>まず企業側の事情としては、ICT（情報通信技術）の発達によって、就業者を一つの所に集約する必要性が低くなっていることが背景として挙げられ、働き方改革の中で、通勤時間の削減や移動時間の効率化、育児や介護の両立の実現、さらに災害時にリスクを分散することができるため、BCP（事業継続計画）対策としても有効であることなどが挙げられております。一方で地方側の事情としては、サテライトオフィス等であれば比較的小規模であるがゆえに、本社や支社・工場とは異なり、人口・産業集積が乏しくとも立地が可能であること、また、地元の雇用創出や地域産業の振興にもつながる可能性があることが挙げられております。</p> <p>本市においても、未来を創る地域産業の活性化のためにサテラ</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	イトオフィスの誘致を推進していることから以下の点についてお
	伺い致します。
	(1) サテライトオフィス誘致における本市の取組と成果につい
	てお伺い致します。
	(2) サテライトオフィス誘致における本市の考え方と課題につ
	いてお伺い致します。
2. 那須塩原市まち・ひと・し	日本全体の問題となっている少子高齢化の流れの中で、地方に
ごと創生総合戦略について	おいては働き手・担い手である若者の減少や地域の賑わいの喪失
	などの問題が顕著となっており、自治体が定住促進を図ることは
	共通の大きな課題となっています。
	定住促進のためには、自治体の人々に「選ばれる」必要があり
	ます。「選ばれるまち」づくりを進めるためには、自治体が置かれ
	ている状況を十分に把握し、状況に合った独自の施策を展開す
	ること、そして自治体を持つそれぞれの個性を明確にすることが
	重要となってきます。本市には、那須疏水の開削のために様々な
	開拓者を受け入れて以降、人と自然との共生を育んできた「選ば
	れしまち」としての歴史があり、今なお、この時代に培ったフロ
	ンティアスピリッツを引き継ぐ文化・風土が残っています。
	このように移住者を受け入れる下地のある本市の特徴を活かし
	つつ、本市独自の施策展開、個性を明確にすることで定住促進を
	図り、「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口
	減少を加速させる」という負のスパイラルに陥らないようにする
	ため、人口減少克服と地方創生に取り組んでおります。今後も様々
	な政策による効果を集約し、人口減少への歯止め、「東京一極集

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	中」の是正を着実に進めていくことから、創生総合戦略の取組の
	成果や課題の検証、次期計画についてお伺い致します。

受付番号	令和 4年11月 7日 午前 3時 4分受付
第2号	在席

令和 4年11月 7日

那須塩原市議会議長 松田寛人様

議席番号 14番 佐藤一則

### 市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和 4年12月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

#### 記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 酪農業の活性化について	近年急速な経済のグローバル化や円安に伴う輸入飼料価格や燃料費の高騰、また、貿易摩擦等の影響による不安などを背景に、離農する農家が増加し、乳用牛及び肉用牛生産の飼養戸数が減少傾向にあることから、市の基幹産業においても、厳しい環境となっています。
	将来にわたり持続可能な畜産業としていくためには、地域の関係者が連携し、経営基盤を支える担い手の確保、全国でも有数の酪農地帯で生乳生産額全国第2位を生かしたまちづくりの推進等により、地域全体で収益性を向上させる取り組みが求められていることから、
	以下について伺います。
	(1) 畜産業を支える担い手の支援について
	① 収益性の高い生産体制の構築について
	② 水田飼料作物の推進による自給飼料率の向上について
	③ 家畜伝染性疾病の発生予防対策の推進について
	(2) 魅力ある畜産のまちづくり推進について
	① 「生乳生産本州一のまち」である確固たる地位の確立について
	② 地域ブランド和牛の生産拡大について
	(3) 資源循環型農業の推進について
	① 牛ふん尿と生ごみを原料とした有機質たい肥の製造及び利用促進について
	② 堆肥センターの効率的な管理運営について

受付番号	令和 4年 11月 8日
第4号	午前 4時 10分受付 午後

令和 4年 11月 8日

那須塩原市議会議長 松田寛人様

議席番号 10 番 山形紀弘

## 市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和4年12月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 那須塩原都市計画道路3・3・4号東那須野東通りの整備等について	<p>令和3年5月の定例記者会見で昭和47年度に都市計画が決定された那須塩原都市計画道路3・3・4号東那須野東通りの整備が進むことになりました。県北地域の拠点となる那須塩原駅周辺へのアクセス向上や広域的な道路ネットワークの構築を図ることを目的に、平成20年度に那須塩原駅北土地区画整備事業において約430メートルの路線が完成以降は整備が未着手のままです。今後の整備方針が那須塩原駅周辺のまちづくりに大きく関与することから以下の点についてお伺い致します。</p> <p>(1) 那須塩原都市計画道路3・3・4号東那須野東通りの整備の進捗状況について</p> <p>(2) 整備における概算事業費について</p> <p>(3) 県北地域拠点として那須塩原駅周辺の活性化へ効果について</p> <p>(4) 災害発生時の代替路線としての機能について</p> <p>(5) 周辺道路の渋滞緩和について</p> <p>(6) 今後の整備スケジュールについて</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
2. 消防団について	<p data-bbox="667 241 1473 277">コロナ禍によって様々な社会活動が制限される中、消防団員は</p>
	<p data-bbox="667 313 1473 349">仕事を持つ傍ら日々、本市の安全安心のために訓練や点検を重ね</p>
	<p data-bbox="667 385 1473 421">て有事の際には現場にいち早く駆けつけ、地域防災の役割を担っ</p>
	<p data-bbox="667 456 1473 492">ております。消防団員の更なる待遇改善や活動環境整備が本市の</p>
	<p data-bbox="667 528 1473 564">防災力強化に必要と考えることから、以下の点についてお伺い致</p>
	<p data-bbox="667 600 1473 636">します。</p>
	<p data-bbox="667 672 1473 707">(1) 消防団員の出場手当、訓練手当等の現状と課題について</p>
	<p data-bbox="667 743 1473 779">(2) 消防団員の役割と新入団員確保について</p>
	<p data-bbox="667 815 1473 851">(3) 機能別消防団員の現状と課題について</p>
	<p data-bbox="667 887 1473 922">(4) 消防団員と自治会の連携について</p>
	<p data-bbox="667 958 1473 994">(5) 消防団員アンケートの進捗状況について</p>
	<p data-bbox="667 1030 1473 1066">(6) 消防活動の効率化や地域性を踏まえた管轄地域の見直し</p>
	<p data-bbox="667 1102 1473 1137">について</p>

受付番号	令和 4年11月10日
第7号	午前 6時 55分受付 午後

令和 4年11月10日

那須塩原市議会議長 松田寛人様

議席番号 8番 益子丈弘

## 市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和4年12月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 特定外来生物等の対策について	<p>私たちの住む地球上には多くの生物が存在しています。その生態も様々で、その数は未知の生物を含めると500万から3000万種以上といわれています。人間との関わりのなかで、もともとは生息していなかった地域に入り込んだ生物を外来種とし、入り込んできた経緯により意図的導入と非意図的導入に分けられています。</p> <p>本来の導入目的としていた以外に、人間生活に悪影響を及ぼしている事象が全国各地に起きています。平成17年6月に『特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律』（外来生物法）が施行されて、各地で対応に当たっておりますが、私たちの身近にも大きな課題であることから以下についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 特定外来生物等をどのように捉えているのか所見をお伺いいたします。</p> <p>(2) 本市における特定外来生物等の現状と課題についてお伺いいたします。</p> <p>(3) 外来生物法に指定されていないが影響の著しい生物への</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	対応についてお伺いいたします。
	(4) 本市における特定外来生物等の市民等への周知についてお伺いいたします。
	(5) 本市における特定外来生物等への対応についてお伺いいたします。
2. 物価高騰対策について	<p>物価の高騰が止まりません。その要因は様々と考えられますが燃料や資源価格の高騰、円安による輸入コストの増大などが大きく影響しているといわれております。さらには、世界的な異常気象に起因する農畜産物の不作やコロナ禍、ロシアによるウクライナ侵攻を始めとする世界情勢の不安定化など多くの事案が複雑に結びついています。一方で実質賃金が6か月連続で減少するなど私たちの暮らしが物価の上昇に追いつかず不安ななかで心労の続く生活を余儀なくされています。年末を迎えるにあたり、その心労を察するに余りあるところです。この課題は、多くの市民生活に直結する重要な問題であることからお伺いいたします。</p> <p>(1) 物価高騰の状況をどのように考えているのか本市の所見をお伺いいたします。</p> <p>(2) 本市の物価高騰の現状と課題についてお伺いいたします。</p> <p>(3) 今年度、本市が行う以下の物価高騰対策について、実施状況をお伺いいたします。</p> <p>① 生活者支援について</p> <p>② 事業者支援について</p> <p>(4) 今後の物価高騰対策の取組についてお伺いいたします。</p>

受付番号	令和 4年11月11日
第8号	午前 3時 46分受付 午後

令和4年11月11日

那須塩原市議会議長 松田寛人様

議席番号 9番 小島耕一

## 市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和4年12月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1 肥料価格高騰下における堆肥等有機物の資源循環対策について	<p>ロシアのウクライナへの軍事侵攻に対する経済制裁や中国での輸出制限の継続などの影響を受けて、世界的に肥料原料が高騰しております。加えて、原油高騰や急激な円安などの影響を受けて、国内の肥料価格は前年から1.7倍に上昇しており、これまでに経験したことのない状況にあります。</p> <p>本市は、生乳生産額全国2位を誇る酪農大国であり、県内一の畜産生産を誇っており、乳用牛約25,000頭、肉用牛約12,000頭、豚約40,000頭、採卵鶏約175万頭が飼育されております。</p> <p>牛や豚、鶏の糞尿を発酵させた堆肥は、特殊肥料として土壤に施用され、農業生産の維持向上に貢献しております。</p> <p>しかしながら、水稻や野菜等での堆肥利用はまだまだ限られていることから、良質堆肥の生産をすすめ、耕畜連携によって土壤施用による化学肥料の減肥が求められております。</p> <p>また、畜産の糞尿を利用したバイオガスプラントの導入により、バイオガス発電に取り組む自治体も増えています。</p> <p>政府は、第2次補正予算案の農林水産関係予算に畜産農家が堆肥の保管施設を整備するための費用や粒状で輸送しやすいペレッ</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	ト堆肥の製造設備を導入する費用、下水汚泥の肥料化にむけた研
	究などを支援する費用を国会に提出する予定であります。
	そこで、畜産糞尿や落葉、下水汚泥の肥料化、耕畜連携による
	特殊肥料の流通、糞尿のバイオガス発電利用など有機物の資源循
	環にどのように取り組みむのか質問します。
	(1) 畜産糞尿や落葉等の肥料化の現状について
	(2) 畜産糞尿や落葉等の肥料化の課題について
	(3) 畜産糞尿や落葉等の肥料化の今後の取り組みについ
	て
	(4) 下水汚泥の肥料化の課題と今後の取り組みについて
	(5) 耕畜連携による特殊肥料の流通の現状について
	(6) 耕畜連携による特殊肥料の流通の課題について
	(7) 耕畜連携による特殊肥料の流通の今後の取り組みに
	ついて
	(8) 糞尿のバイオガス発電利用の課題と今後の取り組み
	について

受付番号	令和 4年11月10日
第6号	午前 6時 3分受付 午後

令和 4 年 11 月 10 日

那須塩原市議会議長 松 田 寛 人 様

議席番号 15 番 星 宏子

## 市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和4年12月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 学校における小中学生へのメンタルサポートについて	<p>2022年3月15日、厚生労働省が2021年における自殺者数のデータを公表しました。小中高生の自殺者数は473人で、2020年より26人減少したものの、過去2番目の多さであり、高止まりの状態が続いています。厚労省自殺対策推進室は「ほかの世代が減少する一方で、小中高生の自殺が増えているという現状については、強い危機感を持っている。」としています。また、長引くコロナ禍により不登校となる児童生徒も全国的に増加傾向にあることから以下について伺います。</p> <p>(1) コロナ禍における本市の不登校又は行き渋り傾向のある児童生徒数を伺います。</p> <p>(2) 担任教諭や養護教諭、スクールカウンセラー、心の相談員への心の不調の相談件数を伺います。</p> <p>(3) 心の不調を訴える児童生徒への対応について伺います。</p> <p>(4) 心の不調を訴える児童生徒への保護者や医療機関をはじめとする関係機関との連携の現状と課題について伺います。</p> <p>(5) 市内小中学校における精神不調アセスメントツール「RAMPS(ランプス)」導入についての考えを伺います。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
2. 本市の技能労務職について	<p data-bbox="639 241 1457 510">本市の第3次定員適正化計画では、技能労務職は今後不補充の方針ですが、住民サービスの向上を図り、災害時における復旧即戦力として技能労務職の配置は必要不可欠と考えることから以下について伺います。</p> <p data-bbox="639 544 1190 584">(1) 現在の技能労務職の人数を伺います。</p> <p data-bbox="639 618 1219 658">(2) 技能労務職雇用のメリットを伺います。</p> <p data-bbox="639 692 1457 963">(3) 本計画では、「今後、直営として残す必要のある業務とそうでない業務とを、緊急時における対応の必要性を考慮しながら、見極めていく必要がある。」としていますが、現在の市の考えを伺います。</p> <p data-bbox="639 996 1457 1189">(4) 技能労務職は異動がなく地域に密着しており、地元の情報に精通していることで、住民サービスの向上や災害時における復旧への即戦力につながると考えますが、市の考えを伺います。</p>

受付番号	令和 4年11月10日
第5号	午前 4時 20分受付 午後

令和 4年11月10日

那須塩原市議会議長 松田寛人様

議席番号 4 番 鈴木 秀信

## 市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和4年12月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 本市の子育て支援策について	<p>来年4月1日より、「こども家庭庁」が発足します。大人中心となっていたこの国や社会を「こどもまんなか」へ変えていく司令塔としての組織ということでもあります。人口減少と少子高齢化社会が進む現状にあって、この問題の先頭に立って課題克服に取り組まれることを期待するものであります。</p> <p>さて、本市においてもこの課題に取り組んでいるところでありますが、先頃提示された第2次総合計画後期基本計画原案では、人口の将来展望においては、コロナ禍の中、出生率は減少し、将来推計において同前期基本計画と比較すると、本市の推計人口は令和12年112,257人から108,418人へ、令和22年には105,503人から98,343人へと下方修正しており、人口減少の深刻度が増していることを示しています。この要因として合計特殊出生率の低下や若者、特に10代の転出者の増加の影響を市は挙げています。</p> <p>10月28日、「新たな総合経済対策」が閣議決定され、目玉政策として出産・子育て支援策が発表されました。そして、財源については「令和5年度予算編成過程で検討する。」としています。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	国としてもようやく本腰を入れてきたかと感じます。
	市として将来の合計特殊出生率や若者を中心とした社会状況の
	改善を図るため、特に「子どもを産み育てやすい環境づくり」を
	中心に、今後の施策について伺います。
	(1) 後期基本計画原案に「妊娠期から子育て期にわたり切れ
	目なく支援する。」とあるが、経済的負担の軽減策について本市の
	施策を伺う。
	① 妊娠・出産時の経済的負担の軽減策について
	② こども医療費助成の拡充について
	③ 0～2歳児の支援について
	④ 奨学金の拡充について
	⑤ 国の支援策以外に本市が支援する経済的負担軽減の計画は
	あるか。
	(2) 総合経済対策で経済的負担の軽減策とパッケージにな
	っている伴走型相談支援について伺う。
	① 本市の現在の相談体制と伴走型支援体制の違いについて
	② 「子育て孤立」に対応する民間力の活用について
	③ 子育て世代のニーズに合わせたサービスについて
	(3) 静岡県で通園バスに取り残された女児が死亡した事故
	を受けて、子どもの安全安心対策として送迎用バスへの置き去
	り防止対策が求められています。本市の対応を伺う。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
<p>2. 本市のいじめ・不登校対策について</p>	<p>10月27日、文部科学省の「令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」が発表になり不登校は小・中学校で令和2年度より48,813人増加し244,940人となり、過去最多になったことが分かりました。また、いじめの認知件数も98,188件増加し、615,351件で同じように過去最多になっています。</p> <p>文部科学省は不登校の背景にコロナ禍の影響があったと分析しています。本市の現状を把握し、対策を講じることは健全な学校教育活動に資すると考えることから以下の点について伺います。</p> <p>(1) 文部科学省の調査結果における本市の現状と見解について</p> <p>(2) 今後の対応策について</p>



受付番号	令和 4年11月11日
第9号	午前 4時 30分受付 午後

令和 4年 11月 11日

那須塩原市議会議長 松田寛人様

議席番号 18番 大野 恭男

## 市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和4年12月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 高齢者福祉事業について	<p>高齢者福祉事業は、市の重要な施策であると思われま。我が国においては団塊の世代がすべて75歳以上となる2025年には、高齢化率が約30%に達し、国民の約3人に1人が65歳以上になります。更には、団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年には高齢化率は35.3%に達し国民の2.8人に1人が65歳以上の高齢者という社会が到来すると予測されております。那須塩原市においても同様の傾向にあると思われま。現在、「高齢者が住み慣れた地域で健やかにいきいきと暮らせるまちづくり」という基本理念のもと「第8期那須塩原市高齢者福祉計画」を実行していることから以下の点について伺いま。</p> <p>(1) 「第8期那須塩原市高齢者福祉計画」における介護基盤整備の進捗状況と今後の予定を伺いま。</p> <p>(2) 介護人材不足が懸念されております。保険者である市として、現状と課題をどのように捉え、今後どのように対応していくか伺いま。</p> <p>(3) 地域包括ケアシステムを推進しておりますが、現状と課題をどのように捉え、今後どのように対応していくか伺いま。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	(4) 地域包括支援センターの役割と基幹型地域包括支援センター
	の設置は、今後さらに重要になってくると思われま
	す。市の考えを伺います。
	(5) 全国的に高齢者虐待が増加傾向にあると思われま
	す。那須塩原市の現状と課題をどのように捉え、今後どのよう
	に対応しているか伺います。

受付番号	令和 4年11月11日
第11号	午前 5時 47分受付 午後

令和4年11月11日

那須塩原市議会議長 松田寛人様

議席番号 7番 森本彰伸

## 市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和4年12月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳細に)	答 弁 を 求 め る 者
1. 小中学生の国語力向上について	母国語は自らのアイデンティティーの中心にあるものであります。ほとんどの日本人にとっては日本語が母国語であり、情報を得るにも、伝えるにも、更には思考を組み立てるにも日本語を使います。多様性の世の中では、もちろん多様な言語を母国語とする人たちがいますが、日本で暮らしていくには、やはり日本語の力は最も重要になります。	市長 教育長 教育部長
	国語力の向上はコミュニケーション能力や社会性の向上につながります。家族や友人そして地域の人たちとの人間関係構築にも国語力は必要です。学校での学習においては、国語力は国語科のみではなく、全ての教科の理解や思考において、より高い力が求められます。	
	子どもたちの国語力向上に効果があるとされる読書習慣の推進に、本市では「第2期那須塩原市子どもの読書活動推進計画」をたて、読書の大切さ、楽しさを伝える施策を行っています。今年度は計画	

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳細に)	答 弁 を 求 め る 者
	<p>の最終年度となる中、次期の読書計画を実行性の高いより良い計画にしていかなければなりません。</p> <p>国語力には、読む、聞く、書く、話すそして考えるなどの総合的な力が求められます。習熟度は、短期間の学習で飛躍的に上がるものではなく、継続的かつ積み上げの学習が必要です。</p> <p>本市の国語教育がより充実し、子どもたちの成長につなげるために、以下のことについてお伺いします。</p> <p>(1) 国語力の重要性をどのように考えるか</p> <p>(2) 国語科の授業の重点ポイントについて</p> <p>(3) 国語科のデジタル化について</p> <p>(4) 第2期子どもの読書活動推進計画の効果・実績・評価について</p> <p>(5) 第3期子どもの読書活動推進計画の重点ポイントについて</p>	
2. 歯及び口腔の健康づくり推進について	<p>歯及び口腔の健康を維持することは、口の中の健康だけではありません。子どもにとっては、しっかり咀嚼して食事を摂ることを学び、強い顎を作り、生涯の健康維持の基礎となります。大人になりケアを怠れば、歯周病や虫歯により歯を失うことに繋がり、人とのコミュニケーションに支障をきたすこともあれば、不潔な口腔によりウイルスへの感染など大きな健康被害につながることも考えられます。高</p>	<p>市長</p> <p>保健福祉部長</p> <p>教育長</p> <p>教育部長</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳細に)	答 弁 を 求 め る 者
	<p>齢者になれば、誤嚥性肺炎や認知症の原因にもなると言われていいます。生涯を通し、歯と口腔の健康を維持することは、豊かで健康な生活を守ることであり、市としてしっかりとサポートをしていくべき問題であります。</p>	
	<p>令和2年12月定例会の市政一般質問において、私は、本市の歯と口腔の健康づくり推進における考え方と施策についてお伺いし、歯と口腔の健康づくり推進条例の制定を提案しました。本市の市民はむし歯も少なく、口腔ケアの意識も高いということは理解していますが、市がよりいっそうサポートしていくことで、市民の理解をさらに深め、市民一人ひとりが豊かで健康的な生活を送ることができるように願います。以下のことをお伺いします。</p>	
	<p>(1) 2年前から現在の市民の虫歯の保有率と口腔内の有病率の推移について</p>	
	<p>(2) 2年前から現在の小中義務教育学校の子どもの虫歯の保有率と口腔の健康状態の推移について</p>	
	<p>(3) 県内他自治体の取り組みをどのように把握しているかについて</p>	
	<p>(4) 本市として、歯と口腔の健康づくり推進条例を制定する考えについて</p>	



質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
2. 那須塩原駅周辺整備について	那須塩原駅は本市および、那須地域への玄関口と位置づけられて
て	ているが、新幹線の駅としては賑わいもなく、店舗数も少ない。
	新庁舎建設とあわせ、今後どのように整備し、本市の発展につな
	げていくかについてお聞きします。
	(1) 駅周辺整備のコンセプトについて
	(2) 現在の検討状況について
	(3) 新庁舎建設と一体的に整備する考えはあるか
	(4) 市民の意見・要望をどのように聞いているか
	(5) 現在の課題と今後の進め方について

受付番号	令和 4年11月14日
第13号	午前 10時 25分受付 午後

令和4年11月14日

那須塩原市議会議長 松田寛人様

議席番号 11 番 星野健二

## 市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和4年12月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
1. 空き家等対策について	<p>近年、我が国は少子高齢化による人口減少が急激に進行し、経済成長や産業、社会保障、地域に及ぼす影響が深刻となりつつあります。本市においても例外ではなく2040年には105,503人まで減少すると予測されております。人口の5%を占める団塊世代が75歳以上となり、後期高齢者がいっきに20%近くまで膨れ上がるという2025年問題を間もなく迎えようとしています。そして、その10年後には団塊世代が平均寿命を迎えはじめ、いわゆる2035年、空き家問題へと突入してまいります。このような社会情勢の中で、国は平成27年に「空き家等対策の推進に関する特別措置法」を施行、本市においても平成29年に「那須塩原市空き家等対策計画」を策定し、空き家の発生、抑制、また、利活用のために様々な工夫、施策を行ってきました。しかし、空き家の割合は年々増えている状況で、2019年に公表された最新のデータによると、全国の空き家数は846万件で、全国の家に占める率で見ると空き家率は13.6%と過去最高となりました。また、空き家と同様に空き地についても増加傾向であり、2008年から2018年にかけて約2倍に増加しているとの調査結果がでています。近年の空き地の増加</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	<p>については、人口減少等に伴い新たな土地需要が減少していることが主な要因の一つと考えられています。空き地が適正管理されなければ、害虫の繁殖、ゴミの不法投棄、火災の発生など様々なリスクを抱える状況となり、空き地周辺の住環境を悪化させることとなります。空き地の雑草や立木が管理されず放置していれば景観を損ねることはもちろんのこと、近隣住民との人間関係も悪化する可能性があります。本市の今後の空き家等対策について以下の点についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 本市の空き家等の現状についてお伺いいたします。</p> <p>(2) 空き家バンクの登録状況とこれまでの契約件数についてお伺いいたします。</p> <p>(3) 空き家等に対する住民の苦情や相談件数、相談内容についてお伺いいたします。</p> <p>(4) 本市に移住してくる人達の住居等に関するニーズについてお伺いいたします。</p> <p>(5) 近年、移住促進、新規就農促進等の理由から農地付き空き家が全国的に急増しています。本市も農地付き空き家に取り組む考えはあるか。お伺いいたします。</p>
2. 学校施設の整備について	<p>公共施設の約 4 割を占める学校施設は、昭和 40 年代後半から 50 年代にかけての児童生徒急増期に一斉に整備されたものが多く、その結果、建築後 25 年以上を経過した小中義務教育学校の老朽化の進捗が深刻な状況となっており、安全面や機能面において改善を図ることが喫緊の課題となっています。今後、学校施設の整備を効果的に進め、子ども達の多様なニーズに応じた教育環境</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	の向上と老朽化対策の一体化した整備を推進し、安全・安心かつ
	良好な環境で活動することができるようにすることは大切に思う
	ことから以下の点についてお伺いいたします。
	(1) 本市の教育施設整備の現状と課題についてお伺いいたしま
	す。
	(2) 教育施設の老朽化が進む危険箇所の点検状況についてお伺い
	いたします。
	(3) 小中義務教育学校からの施設に対する要望についてお伺い
	いたします。
	(4) 施設整備の優先順位についてお伺いいたします。
	(5) 避難所としての教育施設整備の今後の計画についてお伺い
	いたします。
	(6) 教育施設長寿命化計画 第1期(2020年～2026年)の進捗状況
	と今後の取組についてお伺いいたします。



質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
<p>2. 緩やかなつながりにより社会的孤立を防ぐ地域づくりについて</p>	<p>重層的支援体制整備事業の移行期間とし、本市では包括的相談支援事業として断らない相談窓口を設置し準備を進めています。厚生労働省が進める施策の中には、市町村全体の支援機関・地域関係者が断らず受け止め、つながり続ける支援体制を構築することをコンセプトに、属性を問わない相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援の3つの支援を一体的に実施することを必須にしています。現状では、社会的に孤立し、病気を抱えている高齢者などに、かかりつけ医が地域とのつながりをサポートすることで健康を取り戻してもらう「社会的処方」と呼ばれる取り組みがあります。社会的処方とは、薬を処方することで患者さんの問題を解決するのではなく、地域とのつながりを処方することで、問題を解決するという考え方です。長引くコロナ禍の中で、人との接触を控えたため、社会的に孤立し、心を病み、更には運動機会の減少による筋力の低下や、気力の低下なども問題になっています。地域資源を通して生活環境を変えて困りごとを解決する社会的処方のアプローチは、予防健康づくりや、地域共生社会の推進に向けた包括的支援体制構築として関連があると考えことから、以下について伺います。</p> <p>(1) 本市の社会的孤立に対する現状把握について</p> <p>(2) 社会的孤立者に対する対策について</p> <p>(3) 保健センターにおける保健指導業務の現状と課題について</p> <p>(4) 社会的処方に対する本市の所見について</p> <p>(5) 孤立している方にコミュニケーションを取り、必要に応じて、地域活動などの地域資源を紹介するリンクワーカーの</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	存在の必要性について

受付番号	令和 4年11月14日
第15号	午前 0時 00分受付 午後

令和 4年11月14日

那須塩原市議会議長 松田寛人様

議席番号 13番 齊藤誠之

## 市政一般質問通告書

令和4年12月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質問事項	質問の内容(詳細)	答弁を求める者
1. 那須塩原市職員の働き方改革について	本市は、那須塩原駅前整備や新庁舎建設、青木道の駅の再整備と、大型の公共事業を控え、さらには市長の肝いりである環境政策など、市の未来を創造し取組まなければならない施策が目白押しであり、また、それらの施策以外にも、普段対応していかなければならない業務もあり、中には社会課題の複雑化により、ますます人の力が必要になっている現状があると考えます。これらの施策を展開するためには、行政職員の力が必要であり、その内容によっては、求められる仕事量の変動し、職員の働き方の課題がますます懸念されます。今後も課題解決に向けた施策に対し、よりきめ細やかな対応が求められる中、職員の負担軽減を図りながらも、最大限のパフォーマンスを行っていく環境を整えていくことは、本市にとって急務であると考えることから以下の点についてお伺いいたします。	市長、副市長、総務部長

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳細に)	答 弁 を 求 め る 者
	<p>(1) 前回9月に行った代表質問の際、本市の職員の数については、類似団体と比べて少ないとの答弁がありましたが、現状についてお伺いいたします。また、各部署の不足数もお伺いいたします。</p> <p>(2) 今年の4月に条例改正した職員の定数については、上限を定めましたが、現状として変化があるのかお伺いいたします。</p> <p>(3) コロナ禍の影響により昨年9月に延長し、令和5年度に見直される第4次定員適正化計画の進捗状況についてお伺いいたします。</p> <p>(4) 業務量の増加に見合う職員の数が確保できていない現状に、市としてはどのように対応していくべきと考えているのかお伺いいたします。</p>	
<p>2. 人口減少社会を迎えた今後の学校運営について</p>	<p>本市の教育は、これまでも子ども達の学ぶ環境をもっとも重要視しながら、ハード整備、ソフト整備、さらには職員の負担軽減を図るなど様々な施策を展開してきております。しかしながら、市の人口ビジョンにおいては、人口減少がうたわれ、特に今年度においては、少子化が顕著であったこともあり、現状への対応と未来を見据えた学校運営を計画していかなければなりません。</p> <p>本市の目指す教育方針が将来社会に出ていく児童生徒にとって最適な学びへと展開させていくことはとても重要であることから、以下の点につい</p>	<p>市長、教育長、教育部長</p>



受付番号	令和 4年 11月14日
第14号	午前 11時 10分受付 午後

令和 4年 11月14日

那須塩原市議会議長 松田寛人様

議席番号 26番 金子哲也

## 市 政 一 般 質 問 通 告 書

令和4年12月那須塩原市議会定例会議における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. ぽっぽ通りの花づくりと市内の緑と花のまちづくりについて	<p>前々回の6月の一般質問で3kmにわたるぽっぽ通りを花の散策道に出来ないかという質問をしました。9月の一般質問で、試験的に花を植えさせてもらえないかと尋ねました。道路課と都市整備課の許可が下りて、乃木緑地公園及びぽっぽ通り 300メートルの両側の花壇帯にパンジーと菊の花の試験的植栽をすることが出来ました。その結果、散策する市民からは、花を見て賞賛の声がたくさんよせられています。現在は、「ぽっぽ通り花の会」ということで、賛同者・協力者のボランティアと寄附金で進めています。最終的には市が本腰を入れてくれなくては、日本一の花の道にしたり、又100万人の観光客を呼び寄せるには、むずかしいし、花の維持管理は長続きはしにくいと思われます。多くの市民による花植えボランティアは市民間のコミュニケーションづくりに、ものすごい効果があることうけあいです。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>(1) ぽっぽ通りを花で満たす試みに市が支援できないか。</p> <p>(2) 花と緑を市民生活の中に取り入れる取組のために専門的に行う緑の課又は花の係をつくることできないか。</p>

質 問 事 項	質 問 の 内 容 ( 詳 細 に )
	(3) 市内の花と緑を専門的担当するために地域おこし協力隊を導入することが出来ないか。
2. 那須特別支援学校の寄宿舎について	<p>県の教育委員会は寄宿舎を存続させてほしいという保護者の悲痛な叫びや、多くの市民の声を無視して、保護者との話合いも拒否して、再三の説明会の要求も、受けることなく、とりつくしまもない状況と思われま。</p> <p>県は「寄宿舎をつくらなければならない」という学校教育法も無視して、建物の老朽化と、昨今は教育的目的が重要視されている寄宿舎生活なのに単に通学困難だけを取り上げて、閉舎しようとしています。半数以上が市内の子供をしめていることから、障害者福祉を大切に考える那須塩原市はもはや県に頼ることなく市単独もしくは近隣4市町で寄宿舎をもうけることができないか伺います。</p>
3. 接骨木地区の大規模養鶏場計画について	<p>前回の一般質問に於いて接骨木地区のとてつもない大規模養鶏場計画に関して、田園空間博物館地域に、こんな大規模な養鶏場が、接骨木住民にとって、果たして適切であるかどうか、至急調査検討するべきではないかという質問を致しましたが、その後の経過を伺います。</p> <p>(1) 新設計画について、進展はあったか、また、申請は提出されたか。</p> <p>(2) 現在の養鶏場と新設計画の養鶏場の調査をしたのか。</p> <p>(3) この大規模養鶏場が接骨木地区にふさわしいか判断されたか。</p>